

くすりと健康 No.57 2012年6月発行

ジェネリック医薬品

あっ！
同じ？

ジェネリックって
なんだろう??

同じだよ。



お薬代って安く
できるのかしら？

発行／(株)東京医療問題研究所 〒164-0001 中野区中野 5-47-10 ☎ 03(3389)7110

発行責任者 平林政子

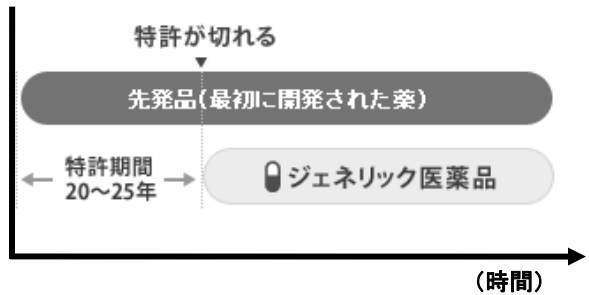
** “ジェネリック”って何？ **



先発品の特許が切れた後に販売された、
同じ有効成分・同等の効き目の薬

先発品(最初に開発された薬)には約20年の特許期間があります。その間は開発した会社だけがその薬を製造することができます。

しかし特許期間が終わると、他の会社が同じ有効成分の薬を作り、販売することができますようになります。



そうして製造された薬を「後発品」

または「ジェネリック医薬品」

(略して“ジェネリック”)と呼びます。

ジェネリックに変更すると、患者さんが窓口で負担する金額が安くなるだけでなく、国の医療費も減らすことができます。

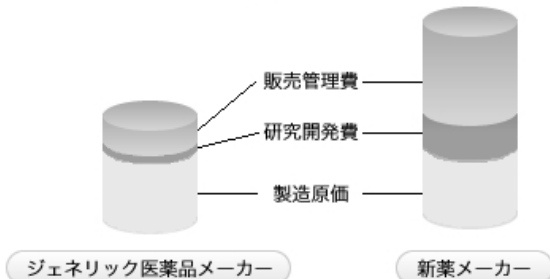


特許期間が終わった医薬品でも、インスリン注射剤など、ジェネリック医薬品が製造されていない薬もあります。

** “ジェネリック”はなぜ安い？ **

開発にかかる期間が短いので、コストが安く抑えられるため

ジェネリックメーカー・新薬メーカーのコスト構造について



新しく医薬品を開発するには10~15年の歳月と数百億円以上もの投資が必要だと言われています。

しかしジェネリックの場合は、先発品ですでに効き目や安全性が確立されているため、開発期間も3~5年と短く、開発にかかるコストも大幅に抑えられるので、価格が安く設定されています。

* * 先発品と同じもの？

本当に安全なの？ * *

効き目・有効成分は同じ
先発品と効き方・安全性に違いがないことを
厳しく審査されている

有効成分・効き目・効き方は先発品と同じです。

なお錠剤の形を保つための添加剤などが違うことがありますが、その添加剤などは、安全性を確認されたものしか使えません。そのうえで先発品と有効性・安全性に違いがないことを、厚生労働省によって厳しく審査されています。

* * どうすれば“ジェネリック”に

変えられるの？ * *

処方せんの『変更不可』の欄にチェックがない薬は変えられます

「変更不可」の欄に×や✓などのチェックが入っていない場合は、ジェネリックに変更することができます。

右の例だと、A錠はジェネリックに変更できますが、Bカプセルは変更できません。

処方せん	
変更不可	
姓	A錠
×	Bカプセル

なおまれに、先発品とジェネリックで適応症(その薬を使うことができる病気)が違うことがあります。その場合はジェネリックに変更できません。

ご存知ですか？

海外での“ジェネリック”使用率は60%以上！

特に欧米ではジェネリックが広く普及していて、特許が切れた先発品のうち70～80%がジェネリックに切り替わり、使用されています。

ちなみに日本では22.8%(2011年9月現在)がジェネリックに切り替えられています。

“ジェネリック”の中にはいろいろな工夫がされている薬もあります。

先発品の特許期間中に患者さんや医師・薬剤師などから出たさまざまな要望が、ジェネリックに活かされていることがあります。

例えば…

- ・大きな錠剤を加工し、小さくした薬
- ・コーティングなどで苦みを抑え、飲みやすくした薬
- ・目薬の容器を柔らかくしたり形を変えたりして、点眼しやすくした薬

などなど…



最後に・・・

2012年4月から一般名処方せん(薬を成分名で書いた処方せん)が病院やクリニックから発行されるようになりました。一般名で書かれた薬は、先発品またはジェネリック医薬品を患者さんのご希望で選ぶことができます。

しかし流通の状況によっては、そのジェネリック医薬品が手に入るまでに数日かかる場合もあります。

薬局では、有効で安全・安価な薬が誰でも安心して使えるよう、努力しています。

まずは医師や薬剤師にご相談ください。



参考文献 くすり与健康No.34『ジェネリック医薬品』

厚生労働省からのお知らせ「ジェネリック薬疑問にお答えします」

日本ジェネリック製薬協会ホームページ、沢井製薬ホームページ